

はぐるま

平成30年1月発行 **94**号

目次

- ・新年のごあいさつ —2
- ・訪問看護ステーション 愛美園 —3
- ・新ホームページの紹介 —3
- ・入職医師紹介 —4
- ・健康に生きるための食養生について—4
- ・恒貴会日帰りバス旅行 —4
- ・眼の構造と屈折 —5
- ・看護部だより —6
- ・恒徳会だより —7
- ・外来診察担当医表／編集後記 —8

BS日テレ

訪問看護ステーション

愛美園が

テレビ取材を受ける



明けましておめでとうございます



医療法人 恒貴会 理事長
中原 昇

平成30年が明けました。今年が平成の最後の年になる模様です。私事ですが平成元年に協和中央病院に就職いたしました。来年でまる30年病院とともに平成の時代を生きてきたことを考えると感慨も一入です。いろいろなことが思い出されます。

昨年は他人を傷つけたり、ミサイルが飛んだりという暗いニュースが多かったような気がします。朝早くスマートフォンがけたたましく鳴るのを聞くと何か嫌な予感がしました。明るいニュースはと聞かれると少ないようです。パンダの香香が生まれて元気に育っていることや、皇室でのご成婚しか思い出せません。来年には現天皇が退位され、新しい天皇が即位されるようです。それに伴い改元されて新元号となります。今年の夏ごろには新元号が発表されるようです。めでたい話かもしれません。

私どもの医療法人も昨年大過なく過ごすことができました。協和中央病院では黒川院長が就任し、滞りなくその職務を全うしているようで、安心しております。医療法人恒貴会も職員が徐々に高齢化しておりますので、後継の育成には大切なものがあります。協和ヘルシーセンター、協和南病院、大和クリニック、愛美園の各施設も厳しい医療環境の中でよく健闘しております。皆様のご協力のおかげと感謝しております。

今年の10月には新しい茨城県西部メディカルセンターが開院されます。当院とともに切磋琢磨して地域の医療に貢献してくれることと期待しております。現在の県西総合病院と筑西市民病院が合併して作られる病院です。これまで地域医療に尽くしてこられた両病院の職員には敬意を表さなければなりません。

私どもの医療法人も社会医療法人を目指して今年申請する予定です。病院を創設された久野家のご理解があって初めて申請することができます。病院の継続性、安定性を目指すには社会医療法人化することが必要と考え、今年動き始めます。医療環境が厳しくなるにつれて、病院の新築など考えられぬようになってきましたが、内容を充実させより良い医療を提供できるよう努力していきたいと考えております。

今年も地域の皆様により良い医療・介護のサービスを提供できるよう、職員一同頑張っていくつもりです。皆様の応援をいただきたいと思います。社会福祉法人恒徳会も新しい理事長が就任されました。福祉サービスもさらに充実されることと思います。

平成30年が皆様にとって良き年になりますようお願いいたします。よろしく願いいたします。



あけましておめでとうございます



社会福祉法人 恒徳会 理事長
久野 貴俊

新年にあたりご挨拶を申し上げます。昨年中は皆様方には大変お世話になり感謝いたしております。本年も皆様のご活躍、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年は北朝鮮による弾道ミサイルの発射などでアラートの発令もあり、緊張感のある一年でありました。世界情勢の不安定性が増しているのを感じます。アメリカやアジア各国、そして日本の対応について注意深く見守って行く必要があると思います。

また、天皇陛下の御退位、皇太子様の新天皇御即位についても議論が深まっていると伺っております。平成という時代からまた新しく世界が変わっていく節目にあるのだと感じております。世界が激動の渦にある中、希望にあふれる日本の未来を希望しております。

さて、昨年4月1日より改正社会福祉法が施行されました。公益性、非営利性を確保する観点から制度を見直し、国民に対する説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人のあり方を徹底するということが趣旨であります。

当法人といたしましても組織の見直しを行いました。経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的取り組みの実施など、また福祉人材の確保促進の取り組み等について、求められる福祉サービスの向上に向けて適切に対応して行く所存であります。より一層ご利用者様の利便性が高まるよう努めてまいります。

人材確保につきましても地域における介護事業に対する関心の高まりも相まって非常に厳しい状況が続いております。サービス向上に向けては人材確保と質の向上が必須でありますので引き続き環境の整備を心がけてまいります。

この地域では今年、茨城県西部メディカルセンターが開院予定であります。非常に重要な機能を担う医療機関であり、地域においても大変有益なものと期待しております。これを機に当グループも機能の見直しなどが必要になることもあるかと思います。地域全体の福祉向上に貢献できるよう、適切に求められるサービスを柔軟に提供できるように心がけて運営して行きたいと思っております。

今年もより一層皆様に信頼され親しまれる、そして選ばれる法人となるよう努めてまいります。引き続き皆様のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

平成30年が皆様にとって素晴らしい年でありますよう祈念いたします。



訪問看護ステーション

愛 美 園



訪問看護ステーション 愛美園
所長
中島 由美子

「日本看護協会『看護の日事業テレビ放送』に協力して」

日本看護協会は、ここ数年「看護の日」事業の一環として、看護に関するテレビ番組を制作しています。今年度は、訪問看護がテーマとなり、撮影現場には、訪問看護ステーション愛美園が選ばれました。全国の9700カ所を超える訪問看護ステーションの中から唯一選抜されたことを大変光栄に思い日本看護協会には感謝の気持ちでいっぱいです。

撮影ロケは、11月の中旬に行われました。愛美園スタッフが患者さん宅でケアしている様子や、愛美園がんサロンでの地域住民への介護保険法についてのレクチャーの場面、愛美園特定行為看護師木下が特定行為を提供している様子など3日間に及ぶロケハンによる密着取材でした。

今回の撮影で、在宅において利用者や家族の思いを受け止め在宅療養を支える訪問看護の有益さや訪問看護師としての生き生きとした働きぶりが伝わるものになればと考えております。撮影に協力くださった利用者様とご家族の皆様、本当にありがとうございました。

番組名：「看護の日・看護週間」特別番組

日 時：2017年12月24日（日）15：30～16：00

放送局：BS日テレ

内 容：在宅において利用者や家族の思いを受け止め在宅療養を支える訪問看護の有益さや訪問看護師としての生き生きとした働きぶりを伝える内容として放映されました。



厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会医師需給分科会 構成員として」

私は、平成29年10月より厚生労働省医政局管轄「医療従事者の需給に関する検討会医師需給分科会 構成員」として会議に参加しております。国策に係る会議への参加は大変恐縮してしまいましたが、地域の現場で働く看護師の生の意見を伝えることによって地域の医師や看護師の不足状態などが議論の中に反映されればと考えております。

病院のホームページが新しくなりました！

協和中央病院のホームページをご覧いただきましてありがとうございます。

このたび、協和中央病院のホームページ(<http://www.kyowachuo.jp>)を新しくしました。ご利用いただく皆さまにとりまして、知りたい情報が探しやすく、見やすいものになるよう、レイアウトや内容を見直しました。スマートフォンやタブレット端末での表示にも対応しております。これからも、内容の充実を図りながら、皆さまにとってわかりやすい情報発信に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



↑
こちらからアクセスできます



経営企画課 課長 飯泉 茂徳

そ が べ ま さ や
協和中央病院 呼吸器医師 曾我部 将哉



平成29年11月より月曜日の呼吸器外来を担当することになりました曾我部将哉です。

自治医科大学外科学講座呼吸器外科部門に所属しております。普段は呼吸器腫瘍性疾患（肺癌、縦隔腫瘍）や気胸などの外科治療を行っております。

当院では喘息、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、肺炎、慢性咳嗽などの疾患も積極的に診療していきます。丁寧かつわかりやすい説明に心がけていきます。

今後ともよろしくお願いします。

（外来診療日：月曜日 午前）

健康に生きるための食養生について

朝晩はかなり冷え込むようになってきました。これからますます気温が下がり、本格的な冬がはじまります。体が冷えるようになり、温かい飲み物や熱い料理がほしくなる季節となりました。季節に合わせて食べ物や飲み物を選ぶのはごく自然なことですが、食事自体で体調を整え、病気にならないようにすること、これを東洋医学の分野では食養生といいます。

食養生の概念を簡単に説明すると、健康に人が生きるための根本は食事由来するという考え方から、食材を酸味、苦味、甘み、辛さ、塩味の5種類の味で分け（以上を五味という）、食材が体に及ぼす性質によって、体の熱をとる寒性、体を冷やす涼性、冷やすと温めるの中間の平性、体を温める温性、さらに強い作用を持った熱性（以上を五性という）の食べ物に分類します。

五味をバランスよく取り、体質や季節、体調などに合わせて五性の食事を取ることが体調を整えるためには必要とされています。また、漢方薬はもともと原材料が天然の草木、根茎、樹皮、果実や、動物由来の成分なので、これらを調理して供されるのがいわゆる薬膳といいます。

一般的には、旬の食材は五性に合致することが多く、具体的な例を挙げると、夏物野菜であるナス、キュウリ、トマトなどは体の熱をとる寒性、涼性であり、冬の食材であるカブや長ネギ、根生姜などは温性です。これからの冬の寒さを乗り切って病気にならないようにするためには、体を温めるものをバランスよく食べることが大事です。



協和中央病院
内科部長
川越 健一

恒貴会 日帰りバス旅行

恒貴会では平成29年度、日帰りバス旅行を企画しました。今回はそれぞれ特色のある4コースを企画し、①帝国ホテル・迎賓館方面、②軽井沢・白糸の滝方面、③横須賀クルーズ・横浜中華街方面、④東京スカイツリー・屋形船方面）希望するコースを自由に選択してもらいました。参加人数は合計で122名の職員が参加し、「他職種間の交流やリフレッシュができた」、「来年も企画して欲しい」等の声を多く聞くことができました。職員間の親睦を図ることによって、今後業務を円滑遂行していくうえでは、とても重要なことだと思います。今年も職員間の親睦がより一層深まるような企画を検討し、たくさんの職員に参加していただきたいと思います。

人事課 副課長 稲見 英章



迎賓館にて



軽井沢・白糸の滝にて



横須賀にて



屋形船にて

眼の構造と屈折

(正視・遠視・近視・乱視)・老視(老眼)

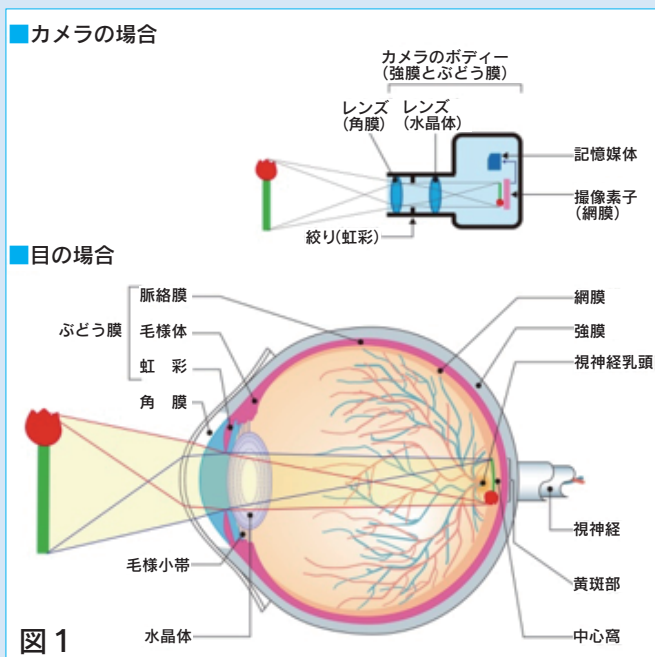


協和中央病院
検査科
視能訓練士
係長
犬塚 建二

眼科外来は毎週火曜・木曜日(午前・午後)、水曜(午前)、金曜(午前・午後(予約のみ))で、医師、看護師、視能訓練士が検査・治療に携わって診療を行っています。また、数多くの検査機器、最新の手術機器を取り揃えそれぞれの患者様に正確な診断と最善の治療ができるように検査を行っています。

年間の手術件数は170例で、主として白内障の手術を行っています。白内障手術は片眼ずつ1泊2日の入院で行うことが可能です。また黄斑疾患に有効な硝子体内注射も年間50例ほど実施しており、こちらは日帰りで実施することが可能です。詳しくは診察をお受けになっていただきご相談ください。

今回は目の構造と屈折についてお話しします。



眼の構造

眼の構造は、よくカメラに例えられていますがどういふことなのかを説明したいと思います。図1の下部にあるのが眼の構造で上部にあるのがカメラになります。

まず、光は、角膜を通り水晶体を通して網膜に到達します。角膜・水晶体がカメラで言うところのレンズの役割を虹彩が絞りの役割をし、そして網膜では撮像素子(フィルム)の役割になります。

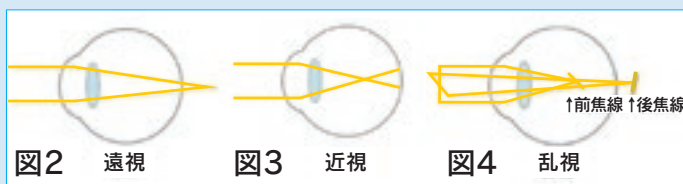
屈折(正視・遠視・近視・乱視)とは

図2が遠視で角膜から通ってきた光(黄色い線)が、眼球(網膜)の後方で焦点を結びます。

図3が近視で角膜から通ってきた光(黄色い線)が、眼球(網膜)の前方で焦点を結びます。

図4が乱視で角膜から通ってきた光(黄色い線)が、垂直と水平がそれぞれ別に焦点を結びます。

正視とは、角膜から通ってきた光(黄色い線)が、眼球(網膜)で焦点を結びます。

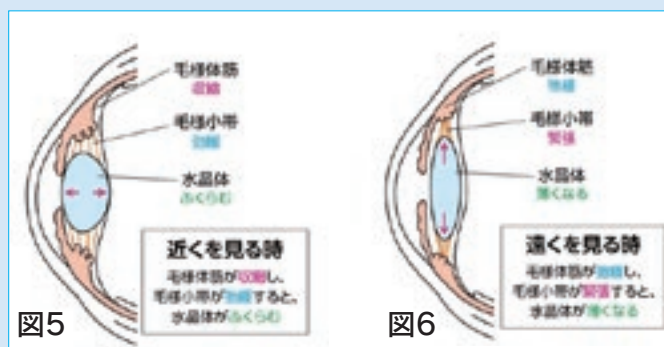


老視(老眼)とは

老視より老眼の方が解りやすいと思いますので、老眼で話をしたいと思います。

よく言われますが、遠視だから老眼とか老眼を遠視だとか勘違いされる患者さんがいますが、まったく意味が異なります。

では老眼とは、調節力の低下、つまり加齢により水晶体の柔軟性が低下することで、ピントが合わなくなったことをいいます。



調節とは、図5、6のように水晶体が膨らんだり、薄くなったりすることでピントを合わせることができます。

正視・遠視・近視関係なく約40歳から始まり約60歳で調節力がなくなります。

では、遠視の方が正視の方より近くが早く見づらくなるかというと、図2で説明した眼球(網膜)の後方で焦点を結ぶため正視の方より調節力が多く必要になるためです。近視の方は、眼球(網膜)の前方で焦点を結んでいるため、元々近くにピントが合っているため老眼と感じにくいからです。なので、メガネなどで遠くに焦点を合わせた状態(矯正)で近くをみると見づらく感じます。

(画像 参天製薬引用)

自治医科大学より看護実習生受け入れ



協和中央病院
新館2階病棟
エキスパートナース
宮山 絵吏

病院実習指導を行って

自治医科大学看護学部3年生の実習生が2日間、当院新館2階病棟で実習を行い、指導に携わりました。実習中に手術を受ける患者様の手術前後の看護やストーマ造設している患者様の装具交換などの見学・指導を行いました。装具交換や術後にドレーン挿入している患者様の看護は初めての体験であったため、実習生も興味深く熱心の実習に臨んでいました。2日間という短い期間の中で、さまざまな体験をすることができてとても喜んでいただけたので嬉しく思います。今後も貴重な体験を通して、実習や就職後に活かせるような指導ができるよう努力していきたいと思います。

病院看護体験を終えて

自治医科大学 看護学部3年生 **富田 優希乃**

多くの患者さんやそれぞれが抱える疾患ケアに携わらせていただくことができました。清拭、入浴介助、バイタル測定なども多く体験させていただき、技術面においても経験を積むことができました。初めて経験させていただくこともたくさんありました。例えばストーマ管理や胆汁ドレナージを入れた看護は初めて体験できました。

新館2階病棟では、患者さんとのコミュニケーションを大切に実施していました。また、術後ということもあり患者さんの状態がダイナミックに変化していく中で、患者さんの気持ちや訴えに向き合い、看護師間での情報共有をこまめに行い、気になったことはすぐに報告することで、患者さんの全身状態を把握し、病棟環境を整えているのだということを学びました。患者さんに優しく声をかけ、その人のレベルに合わせた対応をしている姿を見て、これこそ理想の看護像だと思いました。

今回の実習では手術室にも入らせていただきました。患者さんの受け入れから気管内挿管、器械出しの看護師の動き、手術中の観察、麻酔科医師、外科医師のやりとり、病棟看護師への申し送りなど一通り体験できました。患者さんに関する情報の漏れがないように、細かく連絡を取り合っている現場を見ることができました。今回踏み台を用意いただき、手術の様子、術野を初めて見ることができ、貴重な経験をさせていただきました。

お忙しい中で自習を受け入れてくださった病院の皆様、本当にありがとうございました。今回の貴重な経験を今後の実習や、就職活動にも活かしていきたいと思います。

看護部懇親会～お正月飾りづくり講座に参加して～



お正月飾りを作る講座に参加しました。材料選びからはじまり、きれいに見えるように花や飾りを組み合わせました。思い通りの場所にワイヤーで固定することが難しく、講師の先生に教えていただいたり、同じテーブルの人に聞きながら完成しました。普段接する機会のない職員の人たちと一緒にテーブルで楽しくお喋りをしながら作業して、それぞれに自分らしい飾りができあがり、とても楽しかったです。

協和中央病院 南2階病棟 介護士 **谷島 紗季**

“お正月飾り”と聞いて不器用な私に作れるのかと不安を抱きながら参加しました。慣れない作業に少し苦労しつつ、講師の先生に教えていただきながら、可愛い飾りができあがりました。普段関わりの少ない職員と同じ空間で、作業したり話ができただことは、貴重な交流の場となり気分転換となりました。

協和中央病院 南2階病棟 看護師 **大和田 誠子**

堇授園



堇授園
生活支援員
安達 はるみ

余暇活動のご紹介

当園では、火曜日の午後に余暇活動を自由参加で希望する利用者様と和紙作り・折り紙・塗り絵等を行っています。今回は現在活動している和紙作りをご紹介します。和紙作りでは、ティッシュペーパー・トイレットペーパー・花紙で立派な和紙が出来上がります。7色の花紙を自由に使い組み合わせによって同じパターンの和紙はなく、彩り豊かな和紙が出来上がるため、利用者の皆様は自分の作った和紙ができるのを楽しみに待ち焦がれています。生産活動（作業）とは違うため、余暇活動中は、いろいろ



な会話も楽しみながらコミュニケーションも図れるのでとても大切な時間だと思います。今後も余暇活動が有意義な時間になるよう考えていきたいと思います。

恒幸園



恒幸園
デイサービスセンター
生活相談係長
上野 公一

「犬はりこ」を作成しました

今年の干支にちなんで、希望される利用者様と一緒に「犬はりこ」を作成しました。

高さ8センチほどのカプセルに障子紙を貼り付け、その上から千代紙で飾りつけ、顔を書いて完成です。カプセルの底にはビー玉が固定されているので、「おきあがりこぼし」のように倒しても起き上がるようになっています。

意外と簡単にでき、利用者様からも「かわいいね」「持って帰って家で飾ろう」と好評でした。

顔の書き方に利用者様の個性が出るようで、他の方の作品を見て会話も盛り上がっていました。

今年は平成最後の年です。皆様にとって良い一年になりますように。



すみれ園



すみれ園
生活支援員
林 祐一郎

卓球バレー

平成29年度より、新たな活動として卓球バレーを開始しました。隔週水曜日の午前中に実施しております。

卓球バレーとは、卓球台を使用し、ネットを挟んで、1チーム6人ずつが椅子（もしくは車椅子）に座り、ピンポン玉を転がして相手コートに3打以内に返すスポーツです。障害の重い人や軽い人、視覚・聴覚・肢体に障害のある人、障害のない人等、老若男女全ての人が参加できるスポーツです。

現段階の目標としてはたくさんの利用者様に興味を持っていただき、卓球バレーのルールや楽しさを伝えることに努めていきたいと思っています。



桃香園



桃香園
サービス管理課長補佐
弓削 敏彦

虐待防止への取り組み

障害者の権利利益の擁護に資することを目的に、平成24年10月に障害者虐待防止法が施行され、福祉施設、職場、家庭での障害者への虐待の禁止、防止早期発見、養護者らへの支援が定められました。

これを受け、桃香園では虐待防止の取り組みとして年に2回、虐待防止の知識を深めるために「虐待の職場内研修用冊子」の読み合わせを行い、日々の業務の中での虐待に関する考え方等を再認識するために「業務振り替えシート」、「虐待認識チェックリスト」、「虐待防止チェックリスト」を用いて虐待防止に向けた取り組みを実施しています。職員各自が記入したチェックリストを集計し、グループに分かれて支援を行う際の問題や差別行為、プライバシーの侵害等について話し合いを行っています。

各グループで出た意見等を虐待防止委員会にて取りまとめ、虐待が深刻な権利侵害であり犯罪につながる行為であることを認識すること、不適切な支援は虐待に繋がることを意識し、職員ひとり一人が利用者様の生活を守る専門職であることの自覚を持ち、そのために必要な知識や技術などの獲得、権利について敏感に反応できる倫理観を持てるよう全職員に周知徹底しています。



外来診療担当医表 平成30年1月

診療科			月	火	水	木	金	土
脳外科	午前	1	中原	中原	中原	中原	中原	中原
		2	五味	長	黒川	手塚	長	黒川
外科	午前	1	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	石川
		2	石川	石川		田中	石川	田中
●水の外科外来は予約のみとさせていただきますのでご了承ください。								
内科	午前	1	玉野	玉野	玉野	川越	川越	長山
			内科	内科	内科	内科	内科	内科
		2	川越	大内	木村	横町	磯田	大内
			内科	内科	内科	循環器・内科	内科	内科
		3	福島	磯田	阿部田	福島	山岡	(予約)新保
			内科	内科	内科	内科	内分泌内科(糖尿病)	循環器内科
		5	田島		磯田	阿治部	大内	
			循環器・内科		内科	消化器・内科	内科	
	7	曾我部	村上		磯田	海老澤		
		呼吸器	内分泌内科(糖尿病)		内科	内科・漢方外来		
	午後 (予約のみ)	1	阿治部	村上			小笠原	
			消化器・内科	内分泌内科(糖尿病)			神経内科	
		2	大場					
			循環器内科					
●内科外来の午後は予約のみとさせていただきますのでご了承ください。								
専門外来	午後	村田	加藤					
		睡眠呼吸障害(予約のみ)	漢方専門外来					
	午前・午後 (午後予約のみ)		北川					
小児科	午前	獨協医大交代制	長尾	長尾		佐藤	自治医大交代制	
	午後	獨協医大交代制	長尾			佐藤		
整形外科	午前	藤田			藤田	萩原	第1、3、4、5 木村	
	●月・木の整形外科は予約と紹介患者様のみ、金(第1、3、5)は大学診療のため時間前に受付終了となります。土(第2)は休診となります。予約外の患者様はお待ちいただけますのでご了承ください。							
痛みの外来	午前			佐藤				
皮膚科	午前・午後		金子			金井		
泌尿器科	午前		別納	幸	神原			
●水曜日の受付は10:30までとさせていただきます。								
眼科	午前・午後		高山	高山 午前のみ	山下・新井 交代制	高山 午後は予約のみ		
歯科 歯科口腔外科	午前・午後 (土は午前のみ)	1	串田	串田	串田	岡田	串田	
		2	大田原	大田原	大谷津	大田原	大田原	
		3			杉浦 午前のみ	渡辺	仙名	
専門外来	午前	第2、4 神部 第3 野口				第2、4 森		

※受付時間《午前の部》 月・火・木・金（7：30～11：30）診療開始 9：00 《午後の部》 皮膚科・眼科（13：30～15：30）診療開始 14：00
 水・土（7：30～11：00）診療開始 9：00 ＊眼科（木）（13：00～15：00）診療開始 13：30
 歯科・歯科口腔外科（8：30～11：00）診療開始 9：00 内科（13：30～16：30）診療開始 14：00
 ＊水・土の午後 及び 日・祭日は、休診です。 小児科（14：30～16：30）診療開始 15：00
 ※診察の際は、保険証をご提出ください。 歯科・歯科口腔外科（13：30～16：00）診療開始 14：00 水の午後も診療します。
 ※受付時間外及び休診日に救急診療を希望される方は、あらかじめ電話でお問い合わせください。

安心が地域に根ざす 医療法人恒貴会・社会福祉法人恒徳会

協和中央病院
 ・脳神経外科・外科・消化器科・内科・漢方内科
 ・呼吸器科・ペインクリニック内科・整形外科
 ・小児科・放射線科・皮膚科・泌尿器科
 ・リハビリテーション科・麻酔科・眼科
 ・歯科・歯科口腔外科
 茨城県筑西市門井1676番地1
 電話0296-57-6131（代）
 E-mail: kyowa@kokikai.com

協和南病院
 茨城県筑西市門井1674番地1
 電話0296-57-5133（代）
 E-mail: minami@kokikai.com

介護老人保健施設
協和ヘルシーセンター
 茨城県筑西市門井1669番地2
 電話0296-57-6030（代）
 E-mail: healthy@kokikai.com

大和クリニック
 茨城県桜川市大國玉2513番地12
 電話0296-58-7788（代）
 E-mail: yamato@kokikai.com

訪問看護ステーション
愛美園
 茨城県桜川市大國玉2513番地12
 電話0296-20-6780（代）
 E-mail: aibien@kokikai.com



障害者支援施設
すみれ園
 茨城県筑西市門井1677番地21
 電話0296-57-5125（代）
 E-mail: sumireen@kohtokukai.jp

障害者支援施設
堇授園
 茨城県筑西市門井1687番地1
 電話0296-57-3400（代）
 E-mail: kinjyuen@kohtokukai.jp

障害者支援施設
桃香園
 茨城県桜川市大國玉2513番地10
 電話0296-58-7870（代）
 E-mail: tohkaen@kohtokukai.jp

新型特別養護老人ホーム
恒幸園
 茨城県筑西市向川澄98番地1
 電話0296-57-7268（代）
 E-mail: koukouen@kohtokukai.jp



編集後記
 明けましておめでとうございます。
 おいしいおせち料理とお酒で太ってしまいましたが（笑）、早春には医療・介護保険、障害福祉サービス等の同時改定が控えており、病院施設にとっては厳しい状況です。創設者・久野恒一先生の法人基本理念「相手の立場に立つ」のもと患者・利用者の皆様に適切でニーズに沿った医療・介護を職員一同が提供していかなければなりません。
 ところで、今年の十二支である戌年の特徴、「勤勉で努力家」忠犬ハチ公のごとく誠実に地道に努力し堅実な日々を過ごし、相場格言で、「戌は笑う」と言われており、好景気で笑って過ごせる1年になることを切に願います。（堤谷）

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。

●発行責任者／中原昇
 ●編集委員／相澤明美 飯泉茂徳 上野敏子 堤谷博之 杉田恵美子 野村正浩 高松紀平／猪野貴之 廣瀬俊樹